



栢田小だより

八王子市立栢田小学校長 平田 英一郎
(ホームページ) <https://hachioji-school.ed.jp/kngde/>

「なんくるないさ」

校長 平田 英一郎

ジメジメとした暑い日が続いています。沖縄や奄美ではすでに梅雨明けしていますが、関東地方はどうでしょうか。体調管理と熱中症には十分注意して過ごしたいものです。

さて、そのすでに梅雨明けした沖縄の方言でよく知られている言葉に「なんくるないさ」という言葉があります。聞いたことのある方も多いと思います。

本来の意味は以下の通りです。(「にこにこ大百科」より一部引用)

「『真(まこと) そーけーなんくるないさ』の定型句を構成する言葉。人として『まことそーけー=正しい事、真(誠)の事をすれば』『なんくるないさ=何とかなるさ』を意味する。つまり、『挫けずに正しい道を歩むべく努力すれば、いつか良い日が来る』という意味」



「一生懸命努力すれば、きっと報われますよ。」そう励ましてくれているように思います。

「なんくるないさ=何とかなるさ」ばかりが言われる気がしますが、その前の「真(まこと) そーけー=正しい事、真(誠)の事をすれば」が大事だと思っています。

栢田小のホームページの中で、「やればできる」と「努力は裏切らない」(今年度は「一步踏み出す」も)と言う言葉を意識して使うようにしています。人間はあきらめずに頑張れば大抵のことが出来ます。ただ、頑張ってもそのときは結果が出ない時もあります。しかし、少なくとも、頑張った分、必ず自分の力となって返って来ます。「できなかったのなら、最初からやらなきゃよかった。」そうではないと言う事を栢田小の児童や、ホームページを見てくださっている皆さんに伝えていきたいと思っているからです。

栢田小の児童は、学習や健康の面で、毎日コツコツと努力を積み重ねています。

例えば、6月23日の週はあいさつ運動を実施し一日のいいスタートが切れました。休み時間や放課後子ども教室では暑さや湿気に負けず元気に遊んだり、体育で思い切り体を動かしたり、地域の社会体育の団体に所属して活動したりもしています。水分補給も適度に行い熱中症に備えて体調管理もできています。授業中には多くの児童が集中して授業に取り組み、真剣なまなざしで主体的に学習に取り組んでいます。家でも、各ご家庭の協力を得て、宿題や家庭学習に取り組んだり、早寝早起きに取り組んだりしています。

当たり前のことを毎日ちよつとずつでも確実に積み重ねていくことは取り立ててすごいことではないかもしれませんが、毎日の少しずつの努力の積み重ねが、明日に羽ばたく大きなエネルギーとなることは間違いありません。



「今、自分ができるベストのこと」を精一杯頑張る。後はくよくよ考えない。一生懸命努力して、最後は結果にこだわらず天の意思に任せるというのは、生き方としてカッコいいものだと思います。

とにかく「なんくるないさ」は、口にすると元気が出る不思議な言葉です。皆さんも唱えてみてください。その際は「真(まこと) そーけー」をお忘れなく!

特別支援教室くぬぎ

くぬぎ教室 主任教諭 齋藤 潤子

特別支援教室(くぬぎ教室)には5名の教員と1名の専門員が所属しており、教員は曜日ごとに横山第一小・散田小・梶田小・緑が丘小を巡回して指導しています。6月現在、4校合わせて65名の児童が在籍しています。

個別指導は、児童の実態に応じた教材を用いて、本人の悩みや課題に対する解決方法を一緒に考えたり、見付けたりしながら学んでいます。具体的には友だちとの距離感や社会のルールやマナー、感情のコントロールなどについて絵カードやワークシートなどを用いて指導しています。小集団指導では、1グループ2~5名の児童を2~3名の教員で指導しています。ロールプレイや集団活動をとおして、場に応じた行動の仕方、友だちとの適切な関わり方などの社会性につながる学習を学んでいます。

指導する上で私たちは、①気持ちが落ち着く「雰囲気づくり」②相談しやすい「関係づくり」③集中できる「環境づくり」④できたことをたくさん褒め、児童が自信をもてる「授業づくり」を大切にしています。くぬぎ教室で学んだことが学級や普通の生活でも生かせるように支援しています。

就学相談について

特別支援教育コーディネーター 竹縄 友見子

就学相談(特別支援学校・特別支援学級[知的障害学級]への転入学・特別支援教室への入室)を希望される場合は、まず、学校に就学相談の希望を伝え、就学相談校内委員会(都の巡回心理士やスクールカウンセラーといった専門家を含む委員会)で適当であるか検討した後、学校から教育センターへ申し込む形となっています。今年度の締め切りは8月下旬に設定されていますので、就学相談を検討されている方は、およそ1か月前の7月25日(金)までに担任にご連絡ください。

小中一貫教育の取組について

小中一貫教育担当 主幹教諭 岩田 紘和

今年も八王子市の教育施策の中心的な柱である「小中一貫教育」に取り組んでいます。梶田中学校、横山第一小学校、緑が丘小学校との連携を密にし、「地域の一員として確かな学力と正しい規範意識をもち、心身ともに健康で、自ら課題に取り組み学ぶ意欲をもった人間の育成をめざす」という目標を掲げ指導の円滑な接続を図っています。

今年度は、小中一貫教育に関連した以下の取組を実施・または予定しています。

①梶田中学校の2年生数名による職場体験(11月26日~11月28日)

キャリア教育の一環として、梶田中学校2年生が様々な職場で体験学習を行っています。その職場の一つとして梶田小学校で、教員、用務員、事務職員、給食管理員、スクールカウンセラー、スクールサポートスタッフなどの仕事を体験したり、仕事のお話を聞いたりする予定です。

②梶田中学校授業見学(6月2日)

中学生の生活や、中学校はどのようなところかを知るために、梶田中学校に各校(梶田小学校・横山第一小学校・緑が丘小学校)の6年生が集まり、授業の見学をしました。

③4校家庭学習重点週間(11月3日~10日、2月18日~24日)

梶田中学校の中間テストの時期に合わせて、小学校でも「落ち着いてじっくりと家庭学習に臨む」ことを共通目的として、4校家庭学習重点週間を設定しています。家庭学習は学力向上のためには欠かすことができません。家庭学習について、ご家庭でもこの期間は特に意識して取り組むようお願いします。

④梶田地区ふれあい活動(6月23日~27日)

地域の協力を得ながら、同時期に四校全てで同内容の挨拶運動を展開します。

本年も梶田中学校の生徒(20名)が梶田小学校に来て挨拶運動を行ってくれました。

その他、小中合同質問教室、梶田地区地域清掃、教員同士による授業参観などを予定しています。

